

長期ビジョン素案に対する総合計画審議会委員等からの主な御意見

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	長期ビジョン素案における該当箇所	ビジョンへの反映状況・県の考え方						
1	パブコメ	P. 13 P. 36	<p>【南海トラフ地震】 「南海トラフ地震」について、発生からの津波到達時間を県民へ周知し、避難ルートや避難先の確認について、意識を高める必要がある。また、県のシステムや機関は、BCPを見据え分散すべきである。都城地区などは、安全な地域であると思われるため、適しているのではないか。</p>	<p>【時代の潮流2 (P. 13)】 2段落目 「また、南海トラフ地震は今後30年以内に70～80%程度の確率で発生するとされ、本県において最大で約1万5千人もの人的被害が想定されています。」</p> <p>【今後の方向性1】</p>	<p>【津波高・津波到達時間】 御意見を踏まえ、津波高・津波到達時間を記載した以下の表を追加します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">南海トラフ巨大地震の津波の想定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">津波高の最大値</td> <td style="text-align: center;">津波到達時間の最短値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17m (串間市)</td> <td style="text-align: center;">14分 (日南市)</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性1】 7つ目の◎ 御意見を踏まえ、次の方向性を追加します。</p> <p>「住民等の災害に対する備えや、自主的・積極的な防災活動を推進するなど、地域の防災力向上に取り組みます。」</p> <p>【県の機関の分散配置】 県の機関については、本庁舎とは別に、県内7地区（都城、延岡、日南、小林、日向、高鍋、高千穂）に総合庁舎を設置しており、現時点での新たな分散配置は考えておりませんが、今後、危機管理対策を講じていく上で参考とさせていただきます。</p>	南海トラフ巨大地震の津波の想定		津波高の最大値	津波到達時間の最短値	17m (串間市)	14分 (日南市)
南海トラフ巨大地震の津波の想定											
津波高の最大値	津波到達時間の最短値										
17m (串間市)	14分 (日南市)										
2	委員	P. 23	<p>【メタバース（仮想空間）】 デジタル化の進展において、メタバースというキーワードは外せない。すでにメタバースの世界に入ってしまった子どもたちが帰って来られない問題が社会現象として起きている。デジタル化の影の部分を見逃さないようにしていく必要がある。</p>	<p>【時代の潮流4】 1段落目 「加えて、デジタル化の進展は、暮らしの利便性を高める一方で、デジタル格差の発生・拡大や人間関係の希薄化につながるなどの指摘もあります。」</p>	<p>【時代の潮流4】 1段落目 御意見を踏まえ、次のとおり加筆します。</p> <p>「加えて、デジタル化の進展は、暮らしの利便性を高める一方で、デジタル格差の発生・拡大やメタバース（仮想空間）への依存等によるリアルな人間関係の希薄化につながるなどの指摘もあります。」</p>						
3	委員	P. 32	<p>【地域交通】 交通需要やこれに対応する交通システムを考える場合、移動範囲（市町村内、市町村間、県内、国内外）を考えて対応する必要がある。 (修正案) 市町村内や市町村間の需要に応じた交通サービスが維持されている。</p>	<p>【将来像2】 具体的なイメージの8つ目 「地域の需要に応じた地域交通サービスが維持されている。」</p>	<p>【将来像2】 具体的なイメージ8つ目 御意見のとおり修正します。</p>						

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	長期ビジョン素案における該当箇所	ビジョンへの反映状況・県の考え方
4	パブコメ	P. 32 P. 37	<p>【東九州新幹線】 「高速鉄道（新幹線）インフラネットワークの早期実現」、つまり、「東九州新幹線」は今後どのように取り組むのか、20年後を見据えてビジョンに記載すべきではないか。</p>	<p>【将来像2】具体的なイメージの7番目 「高速道路等の道路整備や港湾、空港整備が進み、交通・物流の利便性が向上している。」</p> <p>【今後の方向性2】9つ目の◎ 「ひと・モノの流れを活発化し、国内外の活力を呼び込むための交通・物流ネットワークのより一層の充実を図ります。」</p>	<p>【将来像2】具体的なイメージ7つ目 左記の今後の方向性2の9つ目の◎の部分に御指摘の趣旨は含まれているものと考えておりますが、より分かりやすくするため、将来像2の7つ目のイメージを次のとおり修正します。</p> <p>「高速道路等の高速交通網の整備や港湾、空港整備が進み、交通・物流の利便性が向上している。」</p> <p>現在、東九州新幹線の整備については、本県を含む東九州4県と北九州市で構成する「東九州新幹線鉄道建設促進期成会」において、国などに対し、要望活動などを行っておりますが、財政負担の面など検討すべき多くの課題があり、現時点での直接的な表現は差し控えたところです。引き続き、実現に向けて地道に声を上げ続けることが必要と考えており、今後の具体的な施策展開の上での参考とさせていただきます。</p>
5	委員	P. 32	<p>【県内への魅力発信】 本県の魅力を身近な県内の方々にも広くアピールした方が良いので、「県内」との交流も入れた方がよい。</p>	<p>【将来像3】本文3段落目 「全国トップクラスの豊かな食や自然、スポーツ環境など、本県の魅力を生かして、<u>国内外</u>との交流が盛んに行われるようになるなど、力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会の実現を目指します。」</p>	<p>【将来像3】本文3段落目 御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>「全国トップクラスの豊かな食や自然、スポーツ環境など、本県の魅力を生かして、<u>県内外や国外</u>との交流が盛んに行われるようになるなど、力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会の実現を目指します。」</p>

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	長期ビジョン素案における該当箇所	ビジョンへの反映状況・県の考え方
6	パブコメ	P. 32 P. 38	<p>【良好な景観】 (意見①) 国内外からの観光客に対するホスピタリティ精神の更なる充実が必要であり、そのおもてなしの心を表すためには「花と緑」による良好な景観が欠かせない。また、古来からある自然へと導く観光導線など、自然と共生する姿を維持するためには、都市緑化の発掘・見直し・管理が必要である。</p> <p>(意見②) 豊かな自然と価値ある景勝地・観光地、そしてそこに辿りつくまでの(沿道)景観も良好であることが本県の強みである。「美しい宮崎づくり」や「良好な景観」という言葉が表記されるべきではないか。</p>	<p>【将来像3】具体的なイメージの6つ目 「豊かな自然や食、伝統文化など、本県の魅力などを通じて国内外からの観光客が増加し、県内経済が活性化している。」</p> <p>【今後の方向性3】4つ目の◎ 「先人たちが世代を超えて守り、育んできた、豊かな自然や田園風景等を観光や教育活動等に活用することにより、その価値を再認識することで、地域における持続的な自然環境保全の取組を促進します。」</p>	<p>【将来像3】具体的なイメージの6つ目 御意見を踏まえ、次のとおり加筆します。</p> <p>「豊かな自然や美しい景観、食、伝統文化など、本県の魅力などを通じて県内外や国外からの観光客が増加し、県内経済が活性化している。」</p> <p>【今後の方向性3】5つ目の◎ 御意見を踏まえ、次のとおり加筆します。</p> <p>「先人たちが世代を超えて守り、育んできた、豊かな自然や田園風景等の美しい景観を観光や教育活動等に活用することにより、その価値を再認識することで、地域における持続的な自然環境保全の取組を促進します。」</p>
7	パブコメ	P. 32 P. 38	<p>【良好な景観】 豊かな自然と価値ある景勝地・観光地、そしてそこに辿りつくまでの(沿道)景観も良好であることが本県の強みである。「美しい宮崎づくり」や「良好な景観」という言葉が表記されるべきではないか。</p>	<p>【将来像3】具体的なイメージの6つ目 豊かな自然や食、伝統文化など、本県の魅力などを通じて国内外からの観光客が増加し、県内経済が活性化している。</p> <p>【今後の方向性3】4つ目の◎ 先人たちが世代を超えて守り、育んできた、豊かな自然や田園風景等を観光や教育活動等に活用することにより、その価値を再認識することで、地域における持続的な自然環境保全の取組を促進します。</p>	<p>【将来像3】具体的なイメージの6つ目 御意見を踏まえ、以下のとおり加筆します。</p> <p>「豊かな自然や美しい景観、食、伝統文化など、本県の魅力などを通じて県内外や国外からの観光客が増加し、県内経済が活性化している。」</p> <p>【今後の方向性3】5つ目の◎ 御意見を踏まえ、以下のとおり加筆します。</p> <p>「先人たちが世代を超えて守り、育んできた、豊かな自然や田園風景等の美しい景観を観光や教育活動等に活用することにより、その価値を再認識することで、地域における持続的な自然環境保全の取組を促進します。」</p>
8	委員	P. 34 P. 35	<p>【5つの要素】 「デジタル・先端技術・イノベーション」が1番目に来ていることに違和感がある。むしろ2番目の持続可能性が一番上に来るべきではないか。新しい技術で全てをカバーできるものではない。今あるものをきちんと守った上で、さらに新しいものを入れていくことが本当の持続可能性につながる。</p>	<p>【5つの要素】 ①デジタル・先端技術・イノベーション ②持続可能性(サステナビリティ) ③人材力 ④地域力 ⑤きずな・つながり</p>	<p>【5つの要素】 御意見を踏まえ、以下のとおり並び替えます。</p> <p>①持続可能性(サステナビリティ) ②デジタル・先端技術・イノベーション ③人材力 ④地域力 ⑤きずな・つながり</p>

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	長期ビジョン素案における該当箇所	ビジョンへの反映状況・県の考え方
9	委員	P. 35	<p>【ドネーション、人間愛】 (意見①) ドネーション文化、お互い様文化を育て、育んでいく教育がもう一つの柱としてあっても良いのではないかな。 (意見②) 出会いというものを10年後20年後30年後に向けての教育の中、もしくは社会の中に作っていくことが必要。「人間愛」を根幹にして考えていくことが大事。 (意見③) 一人ひとりが大切にされる社会であることが大事。想いや問題意識もシェアすることができるように、リアルで交わる場を創る、保つことも大切にしていけるべき。</p>	<p>【要素5 きずな・つながり】 1段落目 「私たちの社会は、家庭や学校、職場、地域において、人や組織の関わり合いの中で築き上げられてきたものです。これからも、それぞれの主体が持つ個性や能力などを大切にしつつ、助け合い、補い合うことでよりよい地域を目指すことが重要です。」</p>	<p>【要素5】 1段落目 御意見を踏まえ、以下のとおり修正します。</p> <p>「私たちの社会は、家庭や学校、職場、地域において、人や組織の関わり合いの中で築き上げられてきたものです。これからも、それぞれの個性や能力、意見などを互いに認め大切にしながら、共感や思いやりの心をもって助け合い、補い合うことで、よりよい地域を目指すことが重要です。」</p>
10	委員	P. 36	<p>【地域交通】 「地域交通の整備」の文言：「交通」は整備できないので削除した方がよい。</p> <p>(修正案) 買い物や医療など日々の暮らしに必要な機能・サービスを維持していくため、デジタル技術の活用を進め、基幹集落と周辺をつなぐ持続可能な交通システムや物流ネットワークを構築します。</p>	<p>【今後の方向性1】 1つ目の◎ 買い物や医療など日々の暮らしに必要な機能・サービスを維持していくため、デジタル技術の活用や地域交通の整備を進め、基幹集落と周辺をつなぐ持続可能な交通システムや物流ネットワークを構築します。</p>	<p>【今後の方向性1】 1つ目の◎ 「地域交通の整備」は、乗り合いタクシーや有償旅客運送といった様々な移動手段を確保することを示す表現として用いておりましたが、御意見を踏まえ、次のとおりより分かりやすい表現に修正します。</p> <p>「買い物や医療など日々の暮らしに必要な機能・サービスを維持していくため、デジタル技術の活用や移動手段の確保を進め、基幹集落と周辺をつなぐ持続可能な交通システムや物流ネットワークを構築します。」</p>
11	委員	P. 36	<p>【地域交通】 「市町村の枠を越えて、より広い圏域で連携し、」の表現に合わせて以下のとおり修正してはどうか。 (修正案) 市町村の枠を越えて、より広い圏域で連携し、医療、教育、交通など暮らしに必要な機能や資源を融通し合える体制づくりを推進します。</p>	<p>【今後の方向性1】 2つ目の◎ 市町村の枠を越えて、より広い圏域で連携し、医療、教育、地域交通など暮らしに必要な機能や資源を融通し合える体制づくりを推進します。</p>	<p>【今後の方向性1】 2つ目の◎ 御意見のとおり修正します。</p>

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	長期ビジョン素案における該当箇所	ビジョンへの反映状況・県の考え方
12	パブコメ	P. 36	【防災・減災】 第2章の目指す将来像の具体的なイメージに「ソフト・ハード両面からの災害対策が充実している。」とあるが、それに対する第3章の今後の方向性が、一般県民に分かりにくい。記載内容を工夫できないか。	【今後の方向性1】	【今後の方向性1】7つ目の◎ 御意見を踏まえ、ソフト面の対策の方向性を追加します。 <u>「住民等の災害に対する備えや、自主的・積極的な防災活動を推進するなど、地域の防災力向上に取り組みます。」</u>
13	委員	P. 37	【労働環境】 医療介護現場からの労働相談が圧倒的に多く、エッセンシャルワーカー（公的な分野、AIでは対応が難しい分野等）の労働環境の整備の追記をお願いしたい。	【今後の方向性2】	【今後の方向性2】6つ目の◎ 御意見を踏まえ、次の方向性を追加します。 <u>「エッセンシャルワーカーをはじめ、県民の暮らしや産業を支える労働者が、安心して働ける就業環境の整備に取り組みます。」</u>
14	委員	P. 38	【福祉的視点】 「ヤングケアラー」や「ダブルケア」の問題など超高齢化社会における子育て世代の家庭環境の変化を考慮し、もう少し幅を持たせる表現方法はできないか。福祉的視点を入れることで、将来像1の実現につながり、「誰一人取り残さない社会づくりが実現するのではないか。	【今後の方向性3】	【今後の方向性3】7つ目の◎ 御意見を踏まえ、次の方向性を追加します。 <u>「福祉・介護・医療・教育などの関係機関が連携し、相談体制や支援制度の充実等を図ることで、ヤングケアラーや貧困・孤立といった困難を抱える人を支える地域づくりに取り組みます。」</u>
15	委員	P. 39	【子どもの学習の機会の確保】 子どもの学習の機会を保障してあげられるような仕組みが大事で、子どもの貧困問題も含めて、教育をもっと強く打ち出してほしい。	【今後の方向性4】	【今後の方向性4】6つ目の◎ 御意見を踏まえ、次の方向性を追加します。 <u>「社会的・経済的な理由で子どもたちが学習の機会をなくすことがないように、相談体制の充実やICT教育の推進など、学びのセーフティネットの充実に取り組みます。」</u>
16	委員	P. 31	【ウェルビーイング、幸せ】 「ウェルビーイング＝幸せ」という視点が重要。幸せという観点の指標を設定・検証し、アップデートしていく方向性を盛り込んでどうか。	【基本理念】 「安心と希望の未来への展望」	【基本理念】 県民誰もが「幸せ」を実感できるようにとの思いを込めて、目指す将来像の基本理念を「安心と希望の未来への展望」としました。幸せの指標化については、アクションプラン策定時において検討してまいります。

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	長期ビジョン素案における該当箇所	ビジョンへの反映状況・県の考え方
17	委員・パブコメ	P. 25 P. 31 P. 37	<p>【技術者の育成】 (意見①) AIの技術者については、中学・高校の授業でPythonやAWSといったプログラミングを学ぶ授業を積極的に取り入れることで、優秀な人材を育成することができ、結果、企業誘致にもつながると考える。</p> <p>(意見②) 地域課題解決に向けた新しい技術の実装・創造を行うためにも、利用する側への整備と同時に、トライ&エラーで課題をいち早く解決できる技術者の育成にもぜひ力を注いでほしい。</p>	<p>【時代の潮流4】3段落目 「また、AI等の先端技術やデータ活用を生活や経済活動に実装していくためには、これらの技術を開発・運用できる人材の育成はもとより、県民や事業者等がそれらの技術を理解し、柔軟かつ効果的に活用するための能力を高めていくことが重要です。」</p> <p>【将来像1】本文2段落目 「また、宮崎に誇りと愛着を持ち、確かな学力やこれからのグローバル・デジタル社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てていくことも重要です。」</p> <p>【今後の方向性2】5つ目の◎ 「産業のデジタル化を支えるデジタル人材の育成・確保を図るとともに、女性や障がい者の雇用や高度な知識・技能をもつ外国人材の受入れを促進することで、多様な人材の活躍を推進します。」</p>	御指摘の趣旨については、左記の部分に包含されていると考えております。今回いただいた具体的な御提案については、今後、施策展開を図っていく上で参考とさせていただきます。
18	委員	P. 37	<p>【高齢者活躍】 高齢化を問題点と捉えるのではなく、技術や人脈をもっている高齢者を上手く使っていく視点が重要。子育てや親の介護が終わり、自由な時間を有する世代を叱咤激励して、働ける人には働いてもらうことも必要。</p>	<p>【今後の方向性2】7つ目の◎ 「就労意欲の高い高齢者が年齢にとらわれることなく、個々の能力に応じて自分らしく安心して働くことができる仕組みづくりを促進します。」</p>	御指摘の趣旨については、左記の部分に包含されていると考えております。
19	委員	P. 38	<p>【スポーツ振興】 「スポーツ環境の充実」だけではなく、「スポーツ・運動の実践」という表現がほしい。</p>	<p>【今後の方向性3】1つ目の◎ 充実したスポーツ施設を生かし、誰もが生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、生きがいや健康を実感できる機会を創出するとともに、豊かな自然の中で、サイクリングやサーフィン、トレッキングなど、アウトドア活動を楽しむことのできる環境づくりを推進します。</p>	御指摘の趣旨については、左記の部分に包含されていると考えております。
20	委員	P. 38	<p>【若者の県内定着】 県内の大学に進学した学生を県内企業への就職につなげていくことが重要。県外に出た学生が戻ってこない状況を見ると、県内企業の魅力が学生に伝わっていない。県内の学生が県内企業の魅力をしっかりと認識して残ってもらえるように、つなぐところを強化すべき。</p>	<p>【今後の方向性4】2つ目の◎ 豊かな自然や食、文化、子育てしやすい住環境といった宮崎の暮らしやすさや国内外で活躍する県内企業の魅力について、特に若い世代や女性に対する情報発信を充実するなど、若者や女性の県内就職、県内定住に向けた取組を進めます。</p>	御指摘の趣旨については、左記の部分に包含されていると考えております。